

## 論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 806 号	氏名	Valon Ejupi
学位審査委員	主査 甲斐 雅亮 副査 小林 信之 副査 武田 弘資		
<p>論文審査の結果の要旨</p> <p>1 研究目的の評価 本研究では、ペプチドに特異的な蛍光誘導体化反応を基盤とするコラゲナーゼ活性の新規蛍光測定法を開発している。さらに、本測定法によって生体試料中の極微量コラゲナーゼ活性を測定しているものであり、目的は十分に妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価 N 末端をアセチル化した合成ペプチドおよび天然ヒトコラーゲンをそれぞれ基質として用い、コラゲナーゼの酵素反応によって生成したペプチド断片を蛍光誘導体化し、蛍光強度を計測することによってコラゲナーゼ活性を測定している。また、本活性測定法を用いて、UV 照射した培養細胞から分泌されるコラゲナーゼの活性変化を解析しており、研究手法も妥当である。</p> <p>3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、合成基質だけでなく天然基質も使用できるコラゲナーゼ活性の新規蛍光測定手法を開発している。また、この活性測定法によって、UV 照射した培養細胞から培地中へ分泌されるコラゲナーゼ活性が上昇していることを確認しており、今後のコラーゲン代謝研究への進展が大いに期待される。</p> <p>以上のように本論文は、がんや関節リウマチなどの疾病や組織形成におけるコラーゲン代謝の研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（薬科学）の学位に値するものと判断した。</p>			